

2. 学校での学習の様子と学力

①好きな教科・嫌いな教科と学力

算数が好きな子どもは算数の学力が高く、国語の好きな子どもは国語の学力が高い傾向がある。しかしながら、興味深いのは国語、社会、理科の教科を好きでも算数の学力は高くなり、むしろ、それらの教科を「好き」と回答している子どもは、算数の学力が低い傾向がみられることである。同じように、社会、理科を「好き」と回答している子どもは、国語の学力階層で「下位」の割合が高くなる傾向がみられる。



あなたは、次の教科や学習の時間の勉強がどのくらい好きですか。

「好きこそものの上手なれ」という言葉があるが、図3-1-1は、まさに、教科の好き嫌いと学力階層に相関があることを示している。

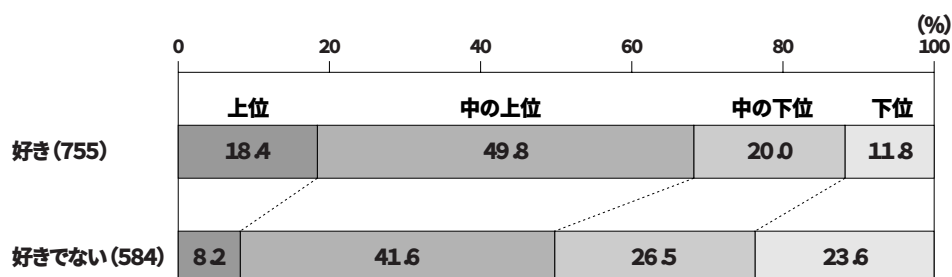
算数が好きな子どもは、18.4%が「上位」、49.8%が「中の上位」、合わせて約7割が偏差値が50以上であり、20.0%が「中の下位」、11.8%が「下位」で、合わせて約3割が偏差値50より低くなっている。これに対して、算数が好きでない子どもだと、「上位」と「中の上位」を合わせて49.8%にとどまっていて、残りの約5割が偏差値が50より低くなっている。算数を好きな子どもは、算数が“できる”ということがわかる(図3-1-1①)。

国語でも、国語が好きな子どもは、「上位」と「中の上位」を合わせた偏差値50以上に約6割が、「中の下位」と「下位」を合わせた偏差値50未満に約4割がいる。これに対して国語を好きでない子どもの場合、「上位」と「中の上位」を合わせた偏差値50以上に5割弱が、「中の下位」と「下位」を合わせた偏差値50未満に5割強がいるという結果になっている。算数ほど相関は明確ではないが、国語を好きな子どもほど国語の学力階層が高い

(図3-1-1②)。

続いて、表3-1-4は国語、社会、算数、理科、総合的な学習の時間のそれぞれについて、好きかどうかによって算数と国語の学力階層がどう違うのかをみたものである。理科が好きだと算数の学力が高いのではないかなどと予想されたが、結果は、表にあるように各教科を好きか好きでないかは学力階層と顕著な相関を示さない。算数の分布から見ると、算数が好きな子どもが算数の学力が高いことはすでにみた通りである。しかし、この表で興味深いことは、国語、社会、理科の3教科、特に社会では、その教科を好きな子どもは好きでない子どもよりも算数の学力階層で「下位」の割合が高いことである。算数以外の教科を好きだと算数の学力は高くないどころか、むしろ下位層が多くなってしまっているのである。同じ表で、国語の学力階層については、国語や算数を好きな子どもは国語の上位層が増えるが、社会と理科を好きな子どもは算数のときと同じように下位層が増えるという傾向がみられる。

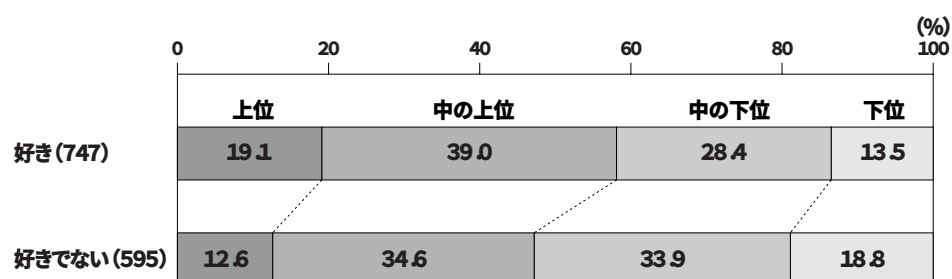
図3-1-1① 算数の学力階層（算数の好き嫌い別）



注1)「好き」は算数について「とても好き」「まあ好き」と回答した児童。「好きでない」は「どちらでもない」「まあ嫌い」「とても嫌い」と回答した児童。

注2) () 内はサンプル数。

図3-1-1② 国語の学力階層（国語の好き嫌い別）



注1)「好き」は国語について「とても好き」「まあ好き」と回答した児童。「好きでない」は「どちらでもない」「まあ嫌い」「とても嫌い」と回答した児童。

注2) () 内はサンプル数。

表3-1-4 算数と国語の学力階層（各教科の好き嫌い別）

		(%)									
		国 語		社 会		算 数		理 科		総合的な学習の時間	
		好き (750)	好きで ない (595)	好き (696)	好きで ない (645)	好き (755)	好きで ない (584)	好き (950)	好きで ない (382)	好き (815)	好きで ない (431)
算 数	上位	15.2	12.3	14.9	12.9	18.4	8.2	14.2	13.1	14.7	13.7
	中の上位	44.8	47.7	41.7	50.7	49.8	41.6	45.2	49.0	46.9	47.3
	中の下位	21.5	24.7	22.0	23.9	20.0	26.5	22.0	25.4	22.8	21.1
	下位	18.5	15.3	21.4	12.6	11.8	23.6	18.6	12.6	15.6	17.9
		国 語		社 会		算 数		理 科		総合的な学習の時間	
		好き (747)	好きで ない (595)	好き (692)	好きで ない (646)	好き (749)	好きで ない (587)	好き (942)	好きで ない (387)	好き (810)	好きで ない (430)
国 語	上位	19.1	12.6	17.8	14.6	18.7	13.3	15.1	19.4	15.8	18.1
	中の上位	39.0	34.6	35.3	38.9	37.4	36.6	36.7	37.5	38.6	37.4
	中の下位	28.4	33.9	29.5	32.2	29.8	32.2	30.9	30.7	30.9	28.8
	下位	13.5	18.8	17.5	14.4	14.2	17.9	17.3	12.4	14.7	15.6

注1)「好き」は各教科について「とても好き」「まあ好き」と回答した児童。「好きでない」は「どちらでもない」「まあ嫌い」「とても嫌い」と回答した児童。

注2) () 内はサンプル数。

②授業の理解度と学力

算数の学力階層の違いによって算数の授業の理解度は大きく異なり、同様に、国語の学力階層の違いによって国語の授業の理解度は大きく異なる。それだけでなく、算数や国語の学力が高いほど、他の非実技系教科（国語、社会、算数、理科）の授業の理解度も高くなる。このことは、算数や国語が非実技系教科の学習の基礎教科的な役割を果たしている可能性を示唆している。



学校の授業をどのくらい理解していますか(わかっていますか)。

図3-1-2①をみると、算数の学力階層が「上位」の子どもの場合、87.1%が算数の授業を理解している（「ほとんどわかっている」「だいたいわかっている」と回答している）のに対して、「中の上位」では77.7%、「中の下位」では61.1%、「下位」では43.7%しか理解していない。「上位」と「下位」の差は43.4ポイントにも及んでおり、算数の学力階層ごとの算数の理解度の差は非常に大きいと言える。しかしそれだけでなく、算数の学力が高いほど、国語、社会、理科の授業の理解度も高くなることがわかった。国語を理解している割合をみると、算数の学力階層が「上位」の子どもの場合、90.4%が「わかっている（ほとんど+だいたい）」と回答しているのに対して、「下位」では57.1%がそう答えているにすぎない。さらに、社会を理解している割合でも、算数の学力階層「上位」の77.0%に対して「下位」では53.2%であり、20ポイント強の差になっている。理科を理解している割合でも算数の学力階層「上位」の85.5%に対して「下位」では70.6%しか「わかっている」と回答していない。算数は、国語や社会や理科の学習を進める上での基礎教科的な役割を果たしている可能性を示唆している。

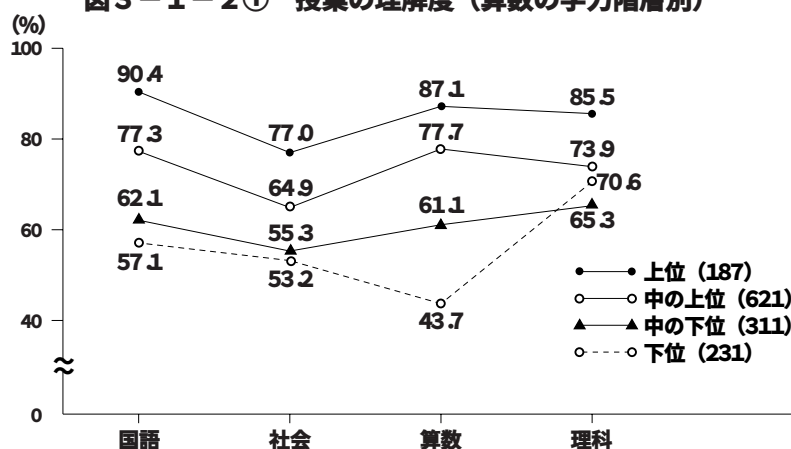
次に、図3-1-2②で、国語の学力階層別に各教科の授業の理解度をみると、国語では「上位」の92.2%が「わかっている」と回

答しているのに対して、「中の上位」では82.1%、「中の下位」では63.0%、そして「下位」では45.8%しかそう回答していない。「上位」と「下位」の差は46.4ポイントであり、算数のときと同様、国語の学力階層ごとの国語の理解度の差も非常に大きいと言える。

また、これも算数のときと同様に、国語の学力が高いほど、社会、算数、理科の授業の理解度が高くなっている。「上位」と「下位」で理解している割合の差に着目すると、社会と算数ではおよそ35ポイント、理科でもおよそ20ポイントの違いになっている。国語は算数の場合以上に、社会や算数、理科の学習を進める上での基礎教科的な役割を果たしている可能性を示唆している。

最後に、図3-1-2③で、2教科合計の学力階層別にみると、「上位」の子どもは各教科とも8～9割が「わかっている」と回答しているのに対して、「下位」では5割前後から最高でも理科の66.6%であった。そして、「上位」と「下位」の差に着目すると、国語、社会、算数で40ポイント前後と大きな差を示し、理科でもおよそ20ポイントの差を示している。前述のように、算数や国語は他の教科の学習のための基礎教科的な役割を果たしている可能性が高いが、算数と国語を合わせた変数である2教科合計の学力は、国語、算数、理科、社会の非実技系教科の授業の理解度と非常に強い相関を示している。

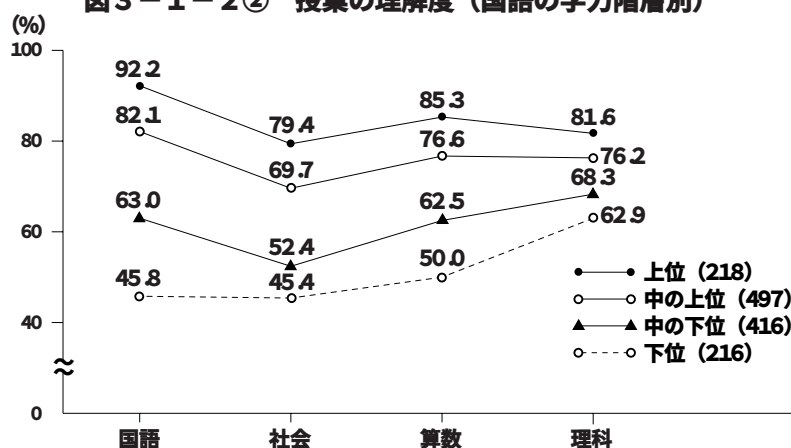
図3-1-2① 授業の理解度（算数の学力階層別）



注1) 数値は「ほとんどわかっている」と「だいたいわかっている」の合計。

注2) () 内はサンプル数。

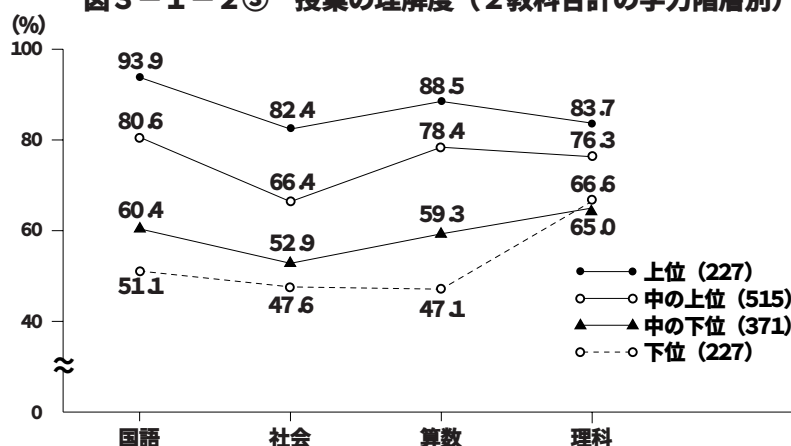
図3-1-2② 授業の理解度（国語の学力階層別）



注1) 数値は「ほとんどわかっている」と「だいたいわかっている」の合計。

注2) () 内はサンプル数。

図3-1-2③ 授業の理解度（2教科合計の学力階層別）



注1) 数値は「ほとんどわかっている」と「だいたいわかっている」の合計。

注2) () 内はサンプル数。

③がんばって勉強したい教科と学力

学力が低い子どもは学力の向上をあきらめて、勉強をがんばらなくなるという見方がある。しかし、第3回調査の結果では、むしろ、算数、国語、2教科合計の学力が低い子どものほうが高い子どもよりも、国語や算数をがんばって勉強したいと思っている。

Q

あなたは、これから学校で、どんな教科や学習の時間をがんばって勉強したいと思いますか。特にがんばりたいと思うものを3つまで選んでください。

本調査では、小学校の各教科に総合的な学習の時間を加えた9つの教科や学習の時間の中から、「がんばって勉強したい教科」を3つ選んでもらっている。表3-1-5は、算数、国語、2教科合計の各学力階層ごとに、子どもがどの教科や学習の時間をがんばって勉強したいと思っているかを示している（この表では、非実技系の4教科と総合的な学習の時間をとりだして示している）。

表3-1-5で明らかになったのは、学力上位層よりも下位層のほうがその教科をがんばりたいと思うということである。

まず、算数の学力階層からみると、「上位」が「下位」よりも顕著に多いのは総合的な学習の時間のみで、「上位」29.9%に対して「下位」では16.0%にとどまる。しかしながら、

国語に関しては「上位」24.6%に対して「中の上位」が31.9%、「中の下位」が37.0%、「下位」が34.2%と下位層の子どものほうががんばる気持ちを持っている。また、算数に関しても「上位」45.5%に対して「下位」が57.1%になっている。一般に、学力が低いとあきらめてがんばらなくなるという危惧があるが、今回の調査結果では、算数の学力が低い子どものほうが、むしろ、国語や算数をがんばって勉強したいと思っている。ただし、理科と社会をがんばって勉強したいという割合については、算数の学力階層別に顕著な差はなかった。

そして、同じ表で、同様なことが国語の学力階層や2教科合計の学力階層についても読み取ることができた。

表3-1-5 がんばって勉強したい教科（学力階層別）

(%)

	算 数				国 語				2教科合計			
	上位 (187)	中の上位 (621)	中の下位 (311)	下位 (231)	上位 (218)	中の上位 (497)	中の下位 (416)	下位 (216)	上位 (227)	中の上位 (515)	中の下位 (371)	下位 (227)
国語	<u>24.6</u>	31.9	<u>37.0</u>	34.2	<u>24.8</u>	29.6	36.3	<u>38.9</u>	<u>22.9</u>	32.2	<u>36.1</u>	35.7
社会	33.2	36.2	30.2	29.0	33.0	32.8	36.5	27.8	33.5	<u>36.1</u>	33.2	<u>26.0</u>
算数	<u>45.5</u>	48.3	52.1	<u>57.1</u>	47.7	49.3	52.2	52.8	<u>40.1</u>	51.3	<u>53.9</u>	53.7
理科	26.2	25.6	24.8	24.2	22.0	26.6	25.7	23.6	21.1	28.9	22.6	25.1
総合的な学習の時間	<u>29.9</u>	22.9	20.6	<u>16.0</u>	<u>28.0</u>	25.2	19.2	<u>14.4</u>	<u>29.5</u>	24.3	19.4	<u>14.5</u>

注1) 9教科中から3つまでを選択。 注2) 下線は10%以上差があるもの（最大値と最小値）。 注3) () 内はサンプル数。

④授業の受け方と学力

授業中に逸脱的行動を行わない子どもは、算数、国語、2教科合計ともに学力が高い。また、肯定的な授業態度も高い学力と結びついている。しかし、軽度のおしゃべりや必要以上にていねいにノートをとることは学力階層に与える効果を読み取ることはできない。テストに関連しては、くやしいと思う気持ちや間違えた問題をやり直すことが高い学力に帰結している。



あなたの授業中の様子についてお聞きます。

学力を高めるためには、どのような授業態度が効果的なのだろうか。表3-1-6①～③は、授業中の様子ごとに学力階層の分布をみたものである。「上位」と「中の上位」、つまり偏差値50以上の階層に着目して、表3-1-6①で算数の学力への影響からみてみよう。

まず、否定的な授業中の態度については、予想通りの結果が得られた。「授業時間になっても教室に入らない」「授業中、勝手に席を離れる」「先生に注意されても友だちとおしゃべりを続ける」など重度の逸脱行動についても、さらには「授業中にいねむりをする」「マンガをかいいたり、文房具で遊ぶ」「ぼうっと他のことを考えている」などの軽度の離脱的な逸脱行動についても、授業中に逸脱的行動を行わない子ども（「あまりない」「ほとんどない」と回答した子ども）は、そのような行動を行う子ども（「よくある」「時々ある」と回答した子ども）よりも学力が高かった。

また、興味深いのは「近くの人とおしゃべりする」に「ある」と回答した子どもは、偏差値50以上の2つの階層に58.8%いるが、「ない」と答えた子どもでも62.1%であり、その差は小さい。この程度の軽なおしゃべりであれば、学力に対してあまり影響はない。さらに、「授業中に、他の科目や塾の勉強をする」では、「ある」が35.7%なのに対して「ない」が61.3%と25.6ポイントもの大きな

差になっている。学力を高めるためには「内職」をするよりは、やはり、今受けている授業を大事にすることが重要なのである。

次に、肯定的な授業態度に関して、「ある」と「ない」を偏差値50以上（「上位」＋「中の上位」）で比べてみると、「黒板に書かれたことを、きちんとノートに書く」で13.2ポイント、「友だちの意見や発表をしっかりと聞く」で17.2ポイント、「自分の考えや意見を発表する」で19.1ポイントとなっている。これら肯定的な授業態度が学力を高める効果を果たしていると言える。ただし、「黒板に書かれていなくても、先生の話で大切なことはノートに書く」では「ある」が58.1%、「ない」が61.9%でその差は3.8ポイントしかない。そこまでていねいにノートをとらなくてもよいということだろうか。

テストに関連した質問について、同様に偏差値50以上の割合の差をみると、まず、「本当は解ける問題を不注意で間違えるとくやしいと思う」が「ある」で63.1%、「ない」で47.4%、次に「テストで間違えるとくやしいと思う」では「ある」で62.5%、「ない」で51.9%、最後に「テストで間違えた問題をやり直す」でも「ある」で63.5%、「ない」で46.5%となっている。くやしいと思う気持ちや間違えた問題をやり直すことが高い学力に帰結している。なお、「授業でわからないことは、あとで先生に質問する」は肯定的な学

習行動であるが、「ある」で52.7%なのに対して「ない」で63.3%となっており、質問する子どものほうが学力が低い。これは、わが国の小学校ではわからない子どもがあきめるのではなく、わからないからこそ質問するという、当たり前のことが行われている結果

とみてよいのではないだろうか。

表3-1-6②で、算数の学力階層の場合と同じ傾向が国語の学力階層の場合にもみとれる。そして、算数と国語の学力階層で同様な傾向が現れているので、2教科合計についても、表3-1-6③で同じ傾向が読み取れる。

表3-1-6① 算数の学力階層（授業の受け方別）

(%)

		上位	中の上位	上位+ 中の上位	中の下位	下位
授業でわからないことは、あとで先生に質問する	ある (432) ない (909)	11.3 15.0	41.4 48.3	52.7 63.3	25.9 21.7	21.3 15.1
授業の内容が難しいと思う	ある (697) ない (646)	8.2 20.1	42.8 49.5	51.0 69.6	25.8 19.8	23.2 10.5
授業の内容が簡単すぎると思う	ある (561) ない (776)	19.6 9.9	49.2 43.7	68.8 53.6	18.4 26.3	12.8 20.1
授業中にいねむりをする	ある (48) ない (1291)	6.3 14.2	35.4 46.6	41.7 60.8	25.0 22.9	33.3 16.3
マンガをかいたり、文房具で遊ぶ	ある (327) ない (1009)	11.0 15.0	41.6 47.3	52.6 62.3	25.1 22.5	22.3 15.3
近くの人とおしゃべりをする	ある (859) ない (480)	13.2 15.4	45.6 46.7	58.8 62.1	24.2 21.0	17.0 16.9
授業中に、他の科目や塾の勉強をする	ある (73) ない (1262)	11.0 14.0	24.7 47.3	35.7 61.3	26.0 23.1	38.4 15.6
ぼうっと他のことを考えている	ある (486) ない (844)	11.1 15.5	41.4 49.1	52.5 64.6	25.5 21.3	22.0 14.1
黒板に書かれたことを、きちんとノートに書く	ある (1207) ない (133)	14.5 9.0	46.8 39.1	61.3 48.1	23.1 21.8	15.6 30.1
授業時間になっても教室に入らない	ある (142) ない (1191)	10.6 14.4	40.8 46.9	51.4 61.3	25.4 22.7	23.2 16.0
授業中、勝手に席を離れる	ある (97) ない (1234)	5.2 14.6	33.0 47.2	38.2 61.8	30.9 22.4	30.9 15.8
先生に注意されても友だちとおしゃべりを続ける	ある (138) ない (1198)	9.4 14.5	42.0 46.6	51.4 61.1	29.0 22.1	19.6 16.8
黒板に書かれていなくても、先生の話で大切なことはノートに書く	ある (630) ない (707)	13.7 14.1	44.4 47.8	58.1 61.9	23.7 22.3	18.3 15.7
本当は解ける問題を不注意で間違える とくやしいと思う	ある (1076) ない (268)	15.1 9.0	48.0 38.4	63.1 47.4	22.4 25.7	14.5 26.9
テストで間違えるとくやしいと思う	ある (1044) ない (293)	14.9 10.6	47.6 41.3	62.5 51.9	21.7 26.6	15.7 21.5
テストで間違えた問題をやり直す	ある (1055) ない (284)	14.7 11.3	48.8 35.2	63.5 46.5	21.6 28.5	14.9 25.0
友だちの意見や発表をしっかりと聞く	ある (1189) ない (154)	14.6 8.4	47.4 36.4	62.0 44.8	22.6 25.3	15.4 29.9
自分の考えや意見を発表する	ある (751) ない (595)	17.0 9.9	51.3 39.3	68.3 49.2	19.4 27.6	12.3 23.2

注1)「ある」は「よくある」「時々ある」と回答した児童。「ない」は「あまりない」「ほとんどない」と回答した児童。

注2)数値部分のアミかけは「上位」と「中の上位」の合計で「ある」と「ない」の差が10%以上のもの。

注3)()内はサンプル数。

表3-1-6② 国語の学力階層（授業の受け方別）

(%)

		上位	中の上位	上位+ 中の上位	中の下位	下位
授業でわからないことは、あとで先生に質問する	ある (433) ない (905)	12.7 17.8	33.7 38.3	46.4 56.1	34.2 29.4	19.4 14.5
授業の内容が難しいと思う	ある (696) ない (644)	11.4 21.6	31.9 42.5	43.3 64.1	36.6 24.4	20.1 11.5
授業の内容が簡単すぎると思う	ある (560) ない (774)	20.4 13.2	38.8 35.9	59.2 49.1	26.4 33.9	14.5 17.1
授業中にいねむりをする	ある (48) ない (1287)	2.1 16.9	29.2 37.4	31.3 54.3	31.3 30.8	37.5 15.0
マンガをかいたり、文房具で遊ぶ	ある (329) ない (1004)	10.6 18.0	31.9 38.7	42.5 56.7	35.9 29.3	21.6 13.9
近くの人とおしゃべりをする	ある (856) ない (480)	15.4 17.5	37.5 36.5	52.9 54.0	30.0 32.3	17.1 13.8
授業中に、他の科目や塾の勉強をする	ある (73) ない (1259)	9.6 16.8	19.2 37.9	28.8 54.7	35.6 30.7	35.6 14.7
ぼうっと他のことを考えている	ある (484) ない (843)	12.2 18.5	34.3 38.8	46.5 57.3	32.6 29.8	20.9 12.9
黒板に書かれたことを、きちんとノートに書く	ある (1204) ない (133)	16.7 12.0	38.1 26.3	54.8 38.3	30.6 32.3	14.5 29.3
授業時間になっても教室に入らない	ある (142) ない (1188)	10.6 17.0	26.8 38.6	37.4 55.6	35.9 30.1	26.8 14.3
授業中、勝手に席を離れる	ある (100) ない (1228)	5.0 17.3	20.0 38.4	25.0 55.7	37.0 30.4	38.0 14.0
先生に注意されても友だちとおしゃべりを続ける	ある (139) ない (1194)	10.1 17.1	32.4 37.6	42.5 54.7	33.1 30.6	24.5 14.7
黒板に書かれていなくても、先生の話で大切なことはノートに書く	ある (629) ない (705)	17.3 15.3	38.8 35.5	56.1 50.8	30.0 31.2	13.8 18.0
本当は解ける問題を不注意で間違える とくやしいと思う	ある (1071) ない (270)	17.3 12.2	39.4 27.8	56.7 40.0	30.2 33.3	13.2 26.7
テストで間違えるとくやしいと思う	ある (1036) ない (298)	17.0 13.4	38.8 30.9	55.8 44.3	29.9 33.6	14.3 22.1
テストで間違えた問題をやり直す	ある (1049) ない (287)	17.5 11.1	39.4 27.9	56.9 39.0	29.5 36.2	13.6 24.7
友だちの意見や発表をしっかりと聞く	ある (1185) ない (155)	17.6 5.8	38.6 24.5	56.2 30.3	30.0 37.4	13.8 32.3
自分の考えや意見を発表する	ある (752) ない (591)	19.1 12.5	41.4 31.5	60.5 44.0	28.2 34.2	11.3 21.8

注1)「ある」は「よくある」「時々ある」と回答した児童。「ない」は「あまりない」「ほとんどない」と回答した児童。

注2)数値部分のアミかけは「上位」と「中の上位」の合計で「ある」と「ない」の差が10%以上のもの。

注3) () 内はサンプル数。

表3-1-6③ 2教科合計の学力階層（授業の受け方別）

(%)

		上位	中の上位	上位+ 中の上位	中の下位	下位
授業でわからないことは、あとで先生に質問する	ある (430) ない (901)	15.3 17.5	33.7 40.7	49.0 58.2	29.5 26.9	21.4 14.9
授業の内容が難しいと思う	ある (690) ない (643)	10.6 24.0	32.3 44.9	42.9 68.9	35.7 19.0	21.4 12.1
授業の内容が簡単すぎると思う	ある (558) ない (769)	22.2 13.1	41.4 36.5	63.6 49.6	22.2 31.3	14.2 19.0
授業中にいねむりをする	ある (47) ない (1282)	2.1 17.6	31.9 38.9	34.0 56.5	21.3 27.7	44.7 15.8
マンガをかいたり、文房具で遊ぶ	ある (325) ない (1001)	11.7 18.9	32.6 40.2	44.3 59.1	32.6 26.2	23.1 14.8
近くの人とおしゃべりをする	ある (852) ない (477)	16.5 17.6	37.7 40.3	54.2 57.9	28.4 26.2	17.4 15.9
授業中に、他の科目や塾の勉強をする	ある (72) ない (1253)	11.1 17.5	18.1 39.5	29.2 57.0	26.4 27.9	44.4 15.2
ぼうっと他のことを考えている	ある (481) ない (839)	13.5 19.0	33.3 41.8	46.8 60.8	31.0 25.6	22.2 13.6
黒板に書かれたことを、きちんとノートに書く	ある (1199) ない (131)	17.6 12.2	39.4 28.2	57.0 40.4	27.5 29.0	15.4 30.5
授業時間になっても教室に入らない	ある (141) ない (1182)	11.3 17.9	27.7 40.0	39.0 57.9	34.0 26.8	27.0 15.3
授業中、勝手に席を離れる	ある (96) ない (1225)	3.1 18.2	20.8 39.9	23.9 58.1	39.6 26.7	36.5 15.2
先生に注意されても友だちとおしゃべり続ける	ある (136) ない (1190)	8.8 18.1	36.8 38.8	45.6 56.9	30.1 27.1	24.3 16.0
黒板に書かれていなくても、先生の話で大切なことはノートに書く	ある (626) ない (701)	17.3 16.8	39.6 37.8	56.9 54.6	26.5 28.4	16.6 17.0
本当は解ける問題を不注意で間違える とくやしいと思う	ある (1068) ない (266)	18.6 10.5	40.3 31.6	58.9 42.1	27.5 28.2	13.6 29.7
テストで間違えるとくやしいと思う	ある (1035) ない (292)	18.0 14.0	40.1 32.5	58.1 46.5	27.2 29.1	14.7 24.3
テストで間違えた問題をやり直す	ある (1046) ない (283)	19.2 8.8	40.6 30.4	59.8 39.2	25.8 34.3	14.3 26.5
友だちの意見や発表をしっかりと聞く	ある (1180) ない (153)	18.3 7.2	40.1 26.1	58.4 33.3	27.1 32.0	14.5 34.6
自分の考えや意見を発表する	ある (748) ない (588)	21.5 11.2	41.7 34.4	63.2 45.6	25.7 30.1	11.1 24.3

注1)「ある」は「よくある」「時々ある」と回答した児童。「ない」は「あまりない」「ほとんどない」と回答した児童。

注2)数値部分のアミかけは「上位」と「中の上位」の合計で「ある」と「ない」の差が10%以上のもの。

注3) () 内はサンプル数。

⑤好きな学校の勉強方法と学力

「パソコンを使ってする勉強」は上位層から下位層までがまんべんなく好きな勉強方法であり、学力階層による差が小さい。それ以外の勉強方法についてはいずれも、学力階層によって「好き」と回答する割合の差が非常に大きい。



あなたは、次にあげる学校の勉強方法は、どのくらい好きですか。

学力階層別に学校での好きな勉強方法をみたものが、表3-1-7である。この表を見ると、「パソコンを使ってする勉強」は、算数、国語、2教科合計ともに上位層から下位層までがまんべんなく好きな勉強方法であり、学力階層による差が小さい。学力階層別で好き嫌いの差が小さいという観点からは、学校でのパソコン利用は大いに進められるべきである。

これ以外の勉強方法では、学力階層によって好きな割合の差が非常に大きい。「苦手度」が大きい(=好きな割合が少ない)勉強方法という視点でみると、まず、算数の学力階層が「下位」の子どもは、「ドリルやプリントを使ってする授業(52.8%：「とても好き」「好き」と回答した割合。以下、同様)」が苦手である。次に、国語の学力階層が「下位」の子どもは、「考えたり調べたりしたことをいろいろ工夫して発表すること(42.1%)」「個人(自分一人)で何かを考えたり調べたりする授業(49.5%)」が苦手である。下位層の子どもたちには、これらの勉強方法は避けてあげるか、あるいは、好きになれるように方法を改善するか、もしくは実施時に何らかのサポートが必要である。

また、学力上位層が(上位層であるにもか

かわらず)比較的苦手である勉強方法についてみてみよう。まず、算数の学力階層が「上位」の子どもは、「個人(自分一人)で何かを考えたり調べたりする授業(61.0%)」「考えたり調べたりしたことをいろいろ工夫して発表すること(67.4%)」「いろいろな人に聞きに行つてする授業や調査(70.0%)」で「好き」と回答する割合が、相対的に小さい。さらに、国語の学力階層が「上位」の子どもは、算数の場合と同じ「個人で何かを考えたり調べたりする授業(59.1%)」「考えたり調べたりしたことをいろいろ工夫して発表すること(63.3%)」「いろいろな人に聞きに行つてする授業や調査(71.1%)」に加えて、「ドリルやプリントを使ってする授業(71.1%)」がやや苦手なようである。

最後に、「座学」の典型とされる「先生が黒板を使いながら教えてくれる授業」は、算数の学力階層でも国語の学力階層でも、下位の子どもでおよそ8割、上位の子どもでおよそ9割が「好き」だと答えている。近年の風潮では、ともすると生きる力や体験的要素を強調するあまり座学を否定しがちであるが、座学は子どもたちによって好かれている勉強方法の1つであることを忘れてはならない。

表3-1-7 好きな学校の勉強方法（学力階層別）

(%)

	算 数				国 語				2教科合計			
	上位 (187)	中の上位 (621)	中の下位 (311)	下位 (231)	上位 (218)	中の上位 (497)	中の下位 (416)	下位 (216)	上位 (227)	中の上位 (515)	中の下位 (371)	下位 (227)
先生が黒板を使いながら教えてくれる授業	<u>88.8</u>	87.6	83.6	<u>77.0</u>	<u>89.5</u>	86.7	85.6	<u>76.4</u>	<u>89.9</u>	87.8	85.4	<u>74.5</u>
個人（自分一人）で何かを考えたり調べたりする授業	<u>61.0</u>	53.0	50.5	<u>49.8</u>	<u>59.1</u>	54.1	<u>49.1</u>	49.5	<u>62.6</u>	52.2	<u>49.3</u>	50.2
グループで何かを考えたり調べたりする授業	<u>91.4</u>	87.3	85.2	<u>77.5</u>	<u>91.3</u>	86.7	85.8	<u>76.9</u>	<u>90.7</u>	89.1	81.9	<u>78.4</u>
ドリルやプリントを使っている授業	<u>77.0</u>	66.5	67.9	<u>52.8</u>	<u>71.1</u>	68.6	63.7	<u>58.8</u>	<u>74.0</u>	68.0	65.0	<u>55.5</u>
自分たちでテーマや調べ方を決めてする授業	<u>77.0</u>	74.1	71.4	<u>64.1</u>	<u>80.3</u>	74.8	71.7	<u>57.9</u>	<u>78.8</u>	75.5	70.1	<u>60.8</u>
パソコンを使ってする勉強	93.6	93.1	88.7	87.8	94.1	91.5	90.9	87.9	93.4	92.7	90.3	87.2
学校外のいろいろな場所に行っている授業や調査	90.4	<u>90.5</u>	87.7	<u>79.7</u>	88.5	<u>90.6</u>	88.2	<u>79.6</u>	88.9	<u>91.2</u>	87.6	<u>79.7</u>
いろいろな人に聞きに行っている授業や調査	70.0	<u>72.8</u>	68.8	<u>62.7</u>	71.1	<u>74.6</u>	68.3	<u>57.8</u>	69.6	<u>75.0</u>	68.2	<u>59.9</u>
友だちと話し合いながら進めていく授業	<u>86.1</u>	84.5	83.2	<u>74.9</u>	<u>86.7</u>	84.3	83.4	<u>73.7</u>	<u>88.1</u>	85.8	81.4	<u>73.1</u>
考えたり調べたりしたことをいろいろ工夫して発表すること	<u>67.4</u>	59.5	52.4	<u>45.5</u>	<u>63.3</u>	62.7	52.6	<u>42.1</u>	<u>64.8</u>	62.9	50.7	<u>43.6</u>

注1) 数値は「とても好き」と「好き」の合計。

注2) 下線は10%以上差があるもの（最大値と最小値）。

注3) () 内はサンプル数。